

特別企画展

詩の舷灯げんとう

— 高森文夫と中原中也 —

2026年

7月30日 Thu → 10月4日 Sun

開館時間◎9時から18時(入館は17時30分まで)

休館日◎毎週月曜日(ただし8月10日、9月21日は開館)

8月25日、9月24日、9月29日

入場料◎一般330円(275円)

大学・高等専門学校の学生220円(165円)

18歳以下・70歳以上「要証明書」は無料

()内は20人以上団体料金

主催…山口市、公益財団法人山口市文化振興財団 中原中也記念館
後援…山口市教育委員会

中原中也記念館

18歳以下
無料

〒753-0056 山口県山口市湯田温泉一丁目11-21

電話083-932-6430 ファックス083-932-6431

<https://www.chuyakan.jp/>

高森文夫

中原中也

特別企画展

詩の舷灯^{げんとう}

—高森文夫と中原中也

中原中也には、兄弟のように親しく接していた詩人がいました。現在の宮崎県日向市出身で3歳年下の高森文夫です。中也と高森は一緒に旅行に出かけたり、同じ下宿で暮らしたりするほど親密な間柄でした。中也は高森に大きな影響を与え、中也もまた詩集「山羊の歌」発行に際してタイトルなどを高森に相談したり、高森が詩集を発行したときは書評を書いたりしています。

中也の死後も高森は故郷で文学活動が続けますが、中也と発行する予定だった同人誌「舷灯」を自身の詩集名にするなど、そこには常に中也への思いがありました。

本展では、船の舷灯のように異なる個性を灯しながら、ともに同じ「詩」の船に乗って進んだ高森と中也の、知られざる友情の軌跡を紹介します。



高森文夫(大学時代)(若山牧水記念文学館蔵)

高森文夫^{たかもり・ふみお} (1910-1998)

明治43年、現在の宮崎県日向市に生まれる。中学校卒業後に上京、日夏耿之介の門下生となり、次々と詩を発表。昭和6年に中原中也と出会い交友がはじまる。中也のすすめにより東京帝国大学仏文科に入学。昭和12年、第一詩集『浚渫船』を出版、のちに第2回中原中也賞(戦前)を受賞する。昭和14年、満州へ渡り、映画制作に携わる。終戦後シベリアに抑留され、昭和24年に帰国。その後、故郷の宮崎県に戻り、延岡市の教育長や東郷町の町長などを歴任しながら文学活動を行う。同郷の歌人・若山牧水の顕彰にも尽力した。第二詩集『昨日の空』、第三詩集『舷灯』がある。



高森文夫が撮影した中原中也



生田春月編『日本民謡集』(個人蔵)
中也旧蔵本。中也の死後、形見分けとして、中原家から高森に贈られたもの。

Event 関連イベント

高森文夫・中原中也と交友の深かった映画監督・野田真吉の映画を上映します。

ワイカムシネマ

野田真吉特集——ゆきははなである

主催：山口情報芸術センター

9月5日(土)ー9月13日(日)

【会場】山口情報芸術センター[YCAM] スタジオC(山口市中園町7-7)

【料金】一般1,400円/65歳以上1,100円、any会員、学生(中学生以上)、障がい者(介助者1名)1,000円/小学生以下800円【※当日券のみ】

関連トークイベント

登壇：^{わたり じゅんきち} 亘 純吉氏(野田真吉ご子息、映像民俗学者)

9月6日(日) 15:35～16:05

※14:00から上映の『生者と死者のかよい路 新野の盆おどり』+『冬の夜の神々の宴 遠山の霜月祭』+『異形異類の面掛行列』(全91分)後、亘氏に野田映画の魅力や高森との思い出についてお話しいただきます。

野田真吉^{のだ しんきち}(1913-1993)

愛媛県八幡浜生まれ。早稲田大学予科在学中、同郷の詩人・高橋新吉の勧めにより参加した雑誌『半仙戯』の会合で、高森文夫と中原中也を知る。高森とは畏友として交友を深め、中也とは詩作のアドバイスを受ける仲となる。昭和12年、P.C.L映画製作所に入社し、映画制作に携わる。戦後は主にフリーの映像作家として、ドキュメンタリーや民俗文化の映像化の分野で多くの作品を残した。詩人としては戦後に2冊の詩集を出版した。著書に中原中也との思い出を記した『中原中也 わが青春の漂泊』などがある。



※詳しくは
YCAMシネマウェブサイトをご覧ください。

●プロムナード・トーク(各回約40分)

8月8日(土)、8月29日(土)、9月20日(日) 各回14:00～

【会場】中原中也記念館

※要入館料、申込不要

学芸担当職員が展示の解説を行います。

中原中也記念館 Nakahara Chūya Memorial Museum

〒753-0056 山口県山口市湯田温泉1-11-21
Tel. 083-932-6430 Fax. 083-932-6431
URL: <https://www.chuyakan.jp/>

